

令和5年度
学校だより

あおなみ

R5.11.29 No.7
諫早市立小長井小学校
校長 白石 和幸

【諫早市小・中学校音楽会】

11月15日、諫早市文化会館にて「諫早市小・中学校音楽会」の「小学校(東地区)の部」が開催されました。今回は、久しぶりに保護者・御家族等の参会が可能となり、開演時には多くの方々から2階席より鑑賞いただきました。我々三小合同楽団は、「わたしたちの小長井」の合唱と、「新時代」の合奏を披露しました。「わたしたちの小長井」は、平成21年度当時の5年生が作詞をしたオリジナルの合唱曲です。歌詞には「小長井の自然の美しさ・人の優しさ」が、ちりばめられ、今回の合唱でも、子供たちの歌声にのせて、ふるさと小長井の魅力を十分に伝えることができました。合奏曲の「新時代」は、人気アニメ「ONE PIECE」の映画で、大ヒットした『ONE PIECE FILM RED』の主題歌として有名な曲です。アップテンポの曲ですが、子供たちはノリノリで、それぞれの楽器を奏で疾走感あふれる合奏を披露しました。演奏後の表情からは、やり遂げた達成感と緊張から解かれた安堵感が伝わってきました。これまでの2か月間、全体練習はもとより、お昼休みやお家での自主練にも熱心に取り組むなど、地道な努力の成果だと思えます。ココだけの話ですが、ほろりとしてしまいました。

他校の発表も鑑賞する中で、どの合唱もどの合奏も素晴らしくて、心を揺さぶられ感動させられっぱなしの音楽会でした。子供たちにとっても「音楽会」という時間や空間は、互いの発表をじっくりと聴き合う貴重な学び・経験になることを実感しました。改めて「音楽の力ってすごいなあ」と痛感しました。この日から、しばらく余韻に浸っておりました。



【学校(働き方)改革について】

「長時間勤務」「多忙化」「なり手不足」「担任不在」等々・・・、これらは報道等でもよく取り上げられている、学校現場を表す言葉です。実際、本校においても現実的な課題として捉えています。そこで、職員同士で、業務改善についての話し合いをしたり、PTAの役員の方々と学校の現状と、教師としての仕事の在り方について協議する機会をいただいたりして参りました。今回、課題として取り上げたのは、通知表の「所見(学習面・生活面についての文章による評価・コメント)」についてです。この「所見」については、私自身もそうでしたが、子供たち一人一人の頑張りや成果・成長・課題等について、文章で表現するのに大変時間とパワーを要しました。昼間は子供たちと過ごしているので、基本的には子供たちが帰った後、次の日の授業等の準備の目処を付けてから、夜な夜な取り組んでおりました。特に文才に乏しい私にとっては、毎回、悪戦苦闘の末に何とか書き上げていた状況でした。作業の速さには個人差があるかもしれませんが、所見作成の時期には、どの担任も相当の労力を費やしてきたはずで

す。PTAの役員の方々に、この点をお話したところ、「先生からの所見(コメント)は、毎回とても楽しみにしていたので、残念です。」「でも、大変なお仕事であることも分かりました。小長井小学校でも見直しをする必要があるのでしょうか。」「所見の代わりに面談を実施してもらえませんか。」といった御意見を頂戴しました。

これらを踏まえて、以下のとおり変更します。どうか、御理解と御協力のほど、よろしくお願いたします。

□通知表の「所見(文章による評価・コメント)」を、年間1回(3学期)とし、2学期の所見の代わりに面談を実施します。

□次年度は、家庭訪問をなくし、1学期中に面談を実施します。所見については、3学期の1回とします。

保護者面談につきましては、担任の先生と直接お話ができるチャンスです。期限を過ぎておりますが、「希望しない」と回答を提出された御家庭も変更可能です。どうぞ、積極的に面談の機会を御活用ください。

※既に調整をしておりますので、担任の空いている時間帯でお越しいただくこととなりますので御了承願います。